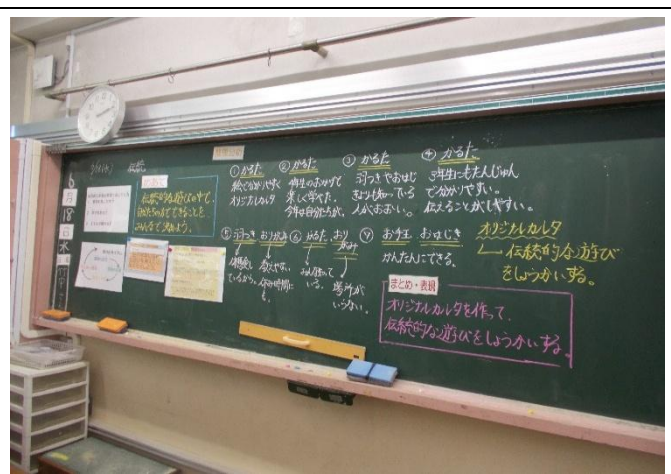


令和7年6月18日(水)校内研究 話題提供授業と協議

4年生 総合的な学習の時間



4年生の話題提供授業では、総合的な学習の時間に「下級生にかかるたで日本の伝統を伝えよう」という学習を行いました。今日の授業では、「伝統的な遊びの中で、自分たちの力でできることを、みんなで決めよう。」というめあてのもと、下級生に伝えるために自分たちが紹介できる伝統的な遊びについて話し合いました。話し合いでは、「①かんたん」「②分かりやすさ」「③伝えやすさ(1～3年生の多くに)」「④どこでもできる(安全)」という4つの視点をもとに、グループごとに伝統的な遊びを一つ選びました。授業の後半では、各グループが選んだ遊びを全体で共有し、全員が納得するためにはクラスとして、どのように決めたらよいのかを話し合いました。授業の終末には、「かるたに伝統的な遊びを取り入れて紹介したら、みんなの思いを大切にできると思う。」という意見が出ました。それを受けて「オリジナルかるたを作って、伝統的な遊びを紹介する」というクラスのまとめに至りました。4年3組のこどもたち一人ひとりが自分の意見をしっかりと持ち、活発に話し合いに参加する姿が見られました。

研究協議会では、図書室にて大田区教育委員会 指導主事 村松 千恵子先生より、本日の授業の成果や課題、授業改善のポイントについてご指導いただきました。総合的な学習の時間の計画について学年で確認し、共通認識をもつとともに、こどもが主体的に取り組める授業を展開することの重要性を改めて学びました。今回の学びを全校で共有・意識し、高学年で実施する「おたの未来づくり」の学習へとつなげていけるよう、今後も努めてまいります。